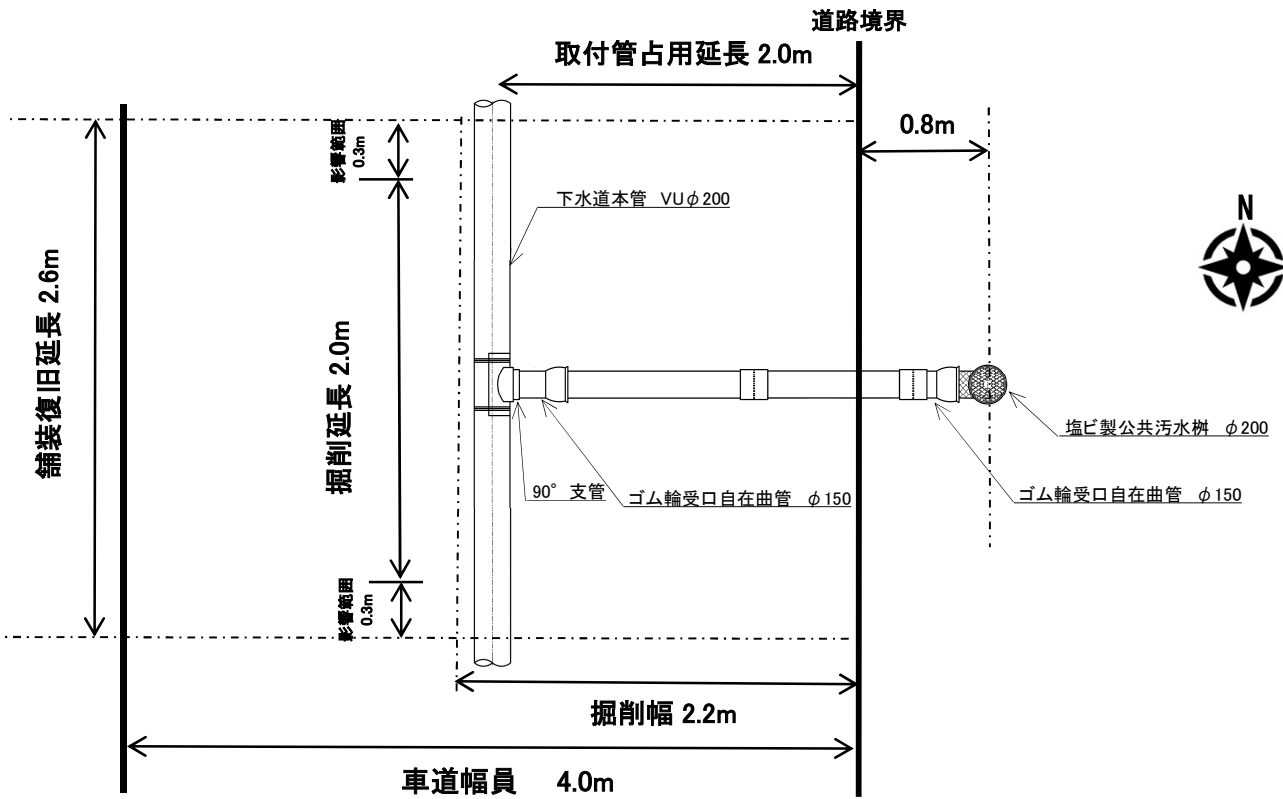
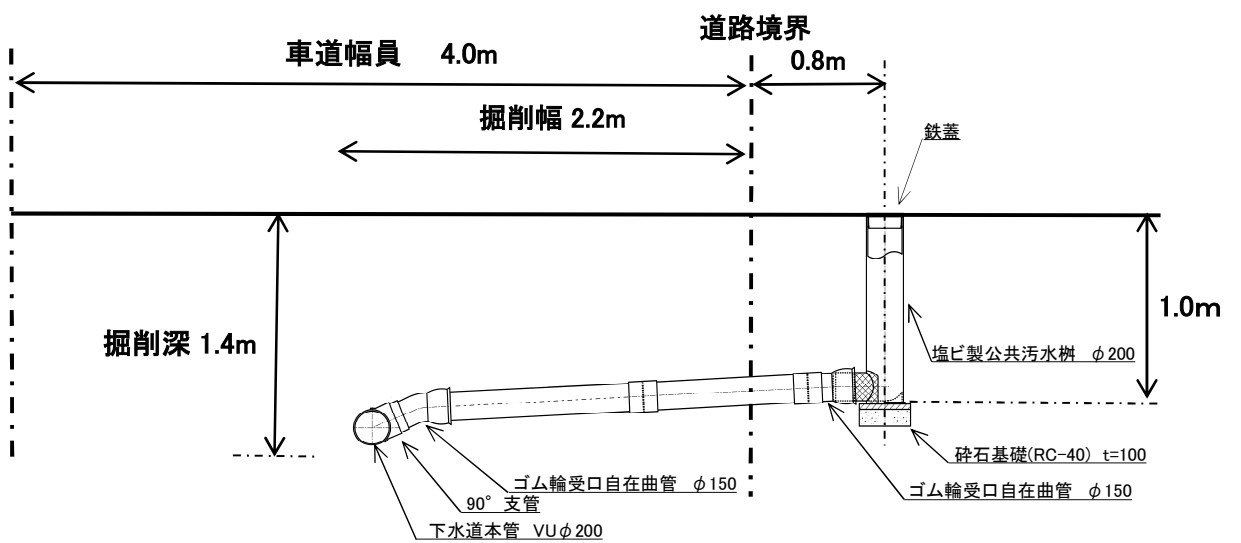


公共污水柵設置及び取付管布設 平面図・断面図 参考図

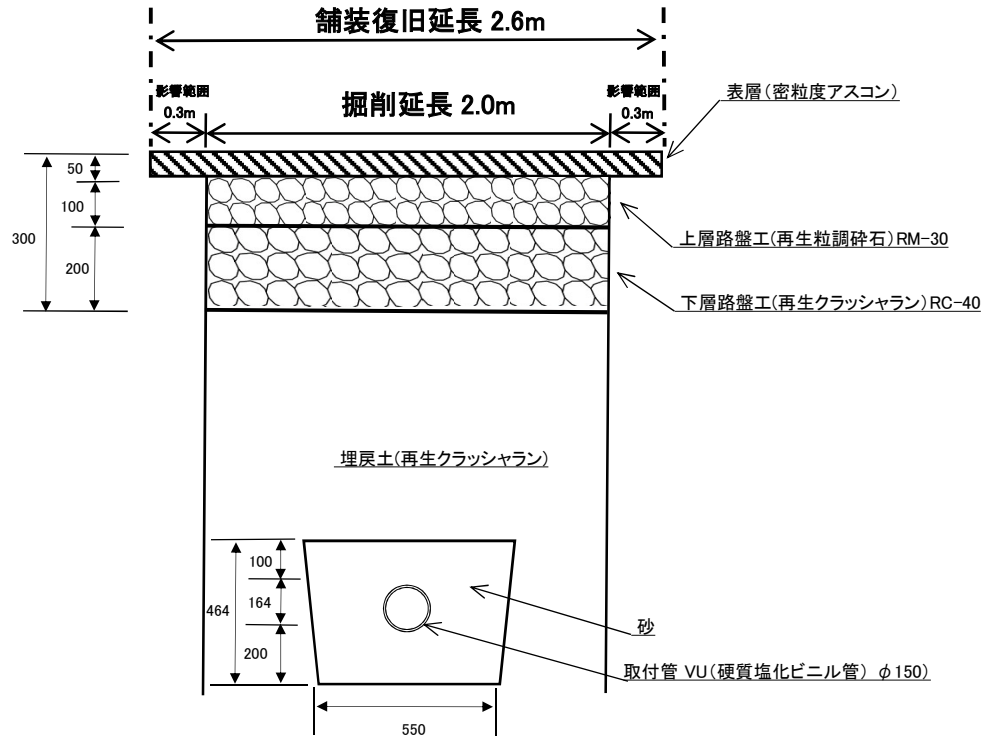
平面図



断面図



舗装復旧・取付管土工 断面図



○取付管及び本管への接合方法への注意事項

- ・取付管は硬質塩化ビニル管を標準とし、最小管径を $\phi 150\text{mm}$ とし、勾配は1%以上とすること。
- ・取付管は本管に対し直角方向に布設すること。また、本管の中心線より上方に取り付けること。
- ・本管取付部は、1メートル以上間隔をとること。
- ・既設本管を再掘削しせん孔(後掘りせん孔)する場合は、管の内部応力を減少させるため、せん孔部を中心に左右各1.0mの区間、計2.0mの区間を掘削し、土砂を取り除いてから、せん孔すること。
- ・本管取付部は、取付管用支管を使用し、専用ホルソーを用いてせん孔すること。
- ・本管をせん孔する際には、ノッチによる破損に十分留意すること。特に寒冷期は破損する可能性が高くなるため、せん孔部をバーナー等で人肌程度に温めてからせん孔すること。
- ・本管と支管の接合は樹脂系接合剤を用い、焼なまし鉄線(#10~#12)で支管を本管に十分に圧着すること。メカロック支管を使用するときは事前に協議を行ってから使用すること。
- ・支管と取付管との接続部は配管の方式の如何を問わず、ゴム輪接合とすること。
- ・床掘後、管床部20cmを砂基礎とし、十分に転圧すること。その後に取付管を布設し、管上100mmまで保護砂で埋め戻すこと。さらに路盤工の高さまで再生クラッシュランで埋め戻すこと。
- ・取付管を人孔取りする場合は、貼付タイプの可とう継手を使用し、インバートは本管の流れに沿うようにすること。また、人孔内に他の取付管接続がある場合は、近接位置を避けること。

○公共汚水枳についての注意事項

- ・公共汚水枳は、塩ビ製汚水枳、底部がフリーインバートのものを基本とする。蓋は大和郡山市の市章入りの蓋を使用すること(駐車場等で蓋の破損の恐れがある箇所については、鉄製の蓋を使用すること。)
- ・公共汚水枳の大きさは、枳深 $H \leq 1.5\text{m}$ で $\phi 200\text{mm}$ 、枳深 $H > 1.5\text{m}$ で $\phi 300\text{mm}$ 、又は0号、1号人孔とする。
- ・公共汚水枳の最低枳深は0.8mとする。申請地内の屋外排水設備の勾配(2%以上)と埋設管の土かぶり(20cm以上)を考慮し、公共汚水枳の枳深を決定すること。
- ・公共汚水枳は、道路境界から1m以内の箇所に設置すること。